

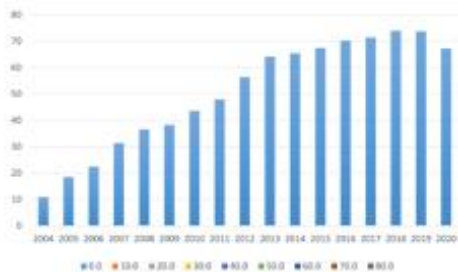
東邦大学医学部内科学講座膠原病学分野(大森)

診療

東邦大学医療センター大森病院 リウマチ膠原病センター診療状況の推移

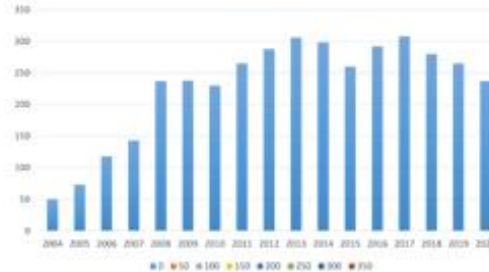
外来診療

1日平均患者数



入院診療

年間退院患者数



研究

英文原著論文

1. Wataru Hirose, et al. ARTHRITIS RESEARCH & THERAPY 23 (1) : 228 , 2021
2. Yajima S†, et al. Annals of surgical oncology 28 (7) : 4007 -4015 , 2021
3. Yoshiya Tanaka, et al. Arthritis & Rheumatology 73 (4) : 587 -595 , 2021
4. Mai Kawazoe, et al. CLINICAL RHEUMATOLOGY 40 (7) : 2947 -2954 , 2021
5. Kaneko K, et al. Clin Transl Med 11 (10) : e526 , 2021
6. Sei Muraoka, et al. Cytokine 146 : 155652 , 2021
7. Kaichi Kaneko, et al. Internal Medicine 1 : 1 , 2022
8. Hiroshi Sato, et al. J Clin Rheumatol 27 (8S) : S814 -- , 2021
9. Tomoaki Ishigami, et al. Methods Protoc. 4 (4) : 83 , 2021
10. Suguru Honda, et al. Mod Rheumatol 1 : 1 , 2021
11. Mai Kawazoe, et al. Modern Rheumatology 1 : 1 , 2021
12. Naoto Tamura, et al). Modern Rheumatology 1 : 1 , 2021
13. Kenji Nagasaka, et al. Modern Rheumatology Inpress : 1 , 2021
14. A. Krez, et al. Osteoporos Int 32 (10) : 2095 -2103 , 2021
15. Satoshi Mizutani, et al. Pharmaceuticals 14 (5) : 474 , 2021
16. Sei Muraoka, et al. Rheumatology and Therapy 8 (4) : 1585 -1601 , 2021

教育

後期研修医9名、前期研修医9名が選択研修してくれました。
学会での症例発表もしてくれました。

基礎研究

- 医学部7F 総合実験室に膠原病科ラボスペース
- 臨床現場で生じる、基礎的疑問について研究を進めています。
- 施設も充実。独自の実験室。細胞培養、動物、実験機器など豊富。

研究内容の一部

- 関節リウマチと口腔内microbiome
- 間質性肺炎モデルマウスと肺内microbiomeの関与
- 間質性肺炎モデルマウスとCX3CL1
- SLE患者の病態形成における腸内microbiomeの解析
- 単球の破骨細胞分化に対するCX3CL1の影響



臨床研究

都内でも有数の症例数を有しており非常に豊富な臨床経験を得ることが出来る。豊富な症例数による多くの臨床研究を行っている。

- ステロイド骨粗しょう症におけるテリパラチドの研究
- ステロイド骨粗しょう症におけるロモソズマブの研究
- 関節リウマチ患者のメタボローム解析による病態解明
- 膠原病疾患におけるCOVID19感染症について

2021年6月20日掲載 読売新聞社

医療機関名	新規・再診患者(人)	生物学的製剤などを使用(人)	関節手術(件)	専門医(人)
東京女子医大	3861	1190	292	23
東京医科歯科大	3509	1086	11	18
昭和大江東豊洲	2591	172	96	4
順天堂大	2541	701	27	35
慶応大	2255	1465	117	28
昭和大	2112	457	63	17
日大板橋	1827	492	105	10
東邦大大森	1728	567	34	12
帝京大	1686	368	15	7
東大	1686	516	5	6
都立大塚	1522	312	18	6
東大	1470	220	41	21
都立駒込	1369	186	16	2
都立墨東	1256	325	107	3
河北総合	1253	274	9	6
青梅市立総合	1201	352	19	2
国立国際医療研究セ	1120	345	4	3
三井記念	1104	245	17	5
東京医大	907	171	3	9
順天堂大練馬	819	107	15	2
東邦大橋	687	291	10	8
武蔵野赤十字	664	115	13	2
東海大八王子	538	83	1	3
順天堂大東京江東豊洲医療セ	507	207	15	5
国・災害医療セ	381	35	6	2
JCHO東京新宿メディカルセ	369	104	6	3
山王	335	84	5	2
江東	283	83	1	1
葛飾リハ	203	25	0	2
慈恵医大	202	53	25	6
日野市立	139	12	7	3
日本医大	80	1	16	11
東京通信	50	15	14	1
都立多摩総合医療セ	-	-	96	9

病院の実力「関節リウマチ」
医療機関別2019年治療実績
(読売新聞調べ)

関節リウマチ
病院の実力

早期治療で変形防

今回は関節リウマチを取り上げる。関節で炎症が起き、放置すると軟骨や骨の変形が進む病気で、免疫機能の異常で起きるとされるが、原因はわかっていない。手足をはじめて、全身の関節に腫れや痛みが生じるほか、発熱や倦怠感なども出る。患者が4分の3を占める。発症のピークは60〜70歳代だ。治療の基本は、抗リウマチ薬の服用。早期に治療を始めれば関節の変形を抑えやすい。生涯つき合う病気だが、治療は長期に及ぶ。一週間は、2019年の新薬期待。再診患者数などを示す。A K阻

膠原病疾患における新規治療薬

- Rituximab

自己抗体を産生する抗体産生細胞はB細胞から成熟することから、B細胞除去療法が考案される。キメラ型抗CD20抗体rituximabはB細胞上に発現するCD20分子を標的に細胞障害性に働く抗体製剤である。ANCA関連血管炎に適応として承認されていたが、2021年強皮症に適応として承認された。

- Belimumab

ヒト免疫グロブリンのG1 λ モノクローナル抗体で、ヒト可溶性BLyS特異的阻害剤である。可溶性BLySのB細胞への結合を阻害することでB細胞の生存を阻害し、B細胞の免疫グロブリン産生する形質細胞への分化を抑制させる。2017年9月にSLEの適応が承認された。

- ヒドロキシクロロキン

抗マラリア薬として開発され、皮膚エリテマトーデス(CLE)、SLE、関節リウマチの標準治療薬として使用されていた。2015年7月にCLE、SLEの特に皮膚症状・倦怠感等の全身症状・筋骨格系症状等がある場合に適応として承認された。

- Anifrolumab

I型インターフェロン α 受容体のサブユニット1(IFNAR1)に結合し、I型IFNの受容体への結合を阻害し、またIFNAR1の細胞内移行を誘導することによってその発現レベルも低下させ、I型IFNのシグナル伝達を阻害する抗IFNAR1ヒト型免疫グロブリンG1 κ (IgG1 κ)モノクローナル抗体である。2021年9月に本邦でSLEの適応が承認された。

膠原病科後期研修プログラムの例

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

内科専攻医1年目	膠原病科							内科系診療科				
2年目	連携医療施設で膠原病科と内科系診療科ローテーション											
3年目	内科系診療科			膠原病科								

J-OSLERに沿って、とにかく漏れがないよう研修

まずは病棟業務、臨床の勉強をしっかりとします

医師4・5年目には**専門外来を開始**（当科の強みのひとつです）

★並行して、**後期研修中から研究を始められます！**

★学会発表などの経験も多く積めます

足利赤十字病院 国際医療福祉建築賞で最優秀賞受賞

省エネなど先進的な取り組みが国際的に高い評価

本年4月、「第24回 IFHE国際病院設備学会」がオランダで開催され、足利赤十字病院がIFHE International Building Award 2016 (IFHE国際医療福祉建築賞2016)の1位最優秀賞に選出され受賞しました。

この賞は、グローバルな顕彰プログラムとして、医療分野における優れた建築プロジェクトを世界規模で募り、各国専門委員による審査・投票で、世界的に評価できる医療福祉建築プロジェクトを選定し表彰するもので、今回新たに設立された記念すべき1回の表彰となります。

今回は、世界中から40件の推薦や応募があり、足利赤十字病院が上位10選にノミネートされたことの連絡を受け、4月19日に小松本院長と鷲見副院長がオランダの受賞会場に出席、その場において足利赤十字病院が世界1位の最優秀賞であることが発表されました。

発表は、3位イギリスのALDEN HEY CHILDREN'S HOSPITAL、2位オランダのMEANDER MEDISCH CENTRUMの順に行われましたが、最後に1位最優秀賞の足利赤十字病院が発表された際には、満場総立ちのスタンディングオベーションとなり会場が祝福に包まれました。

壇上に招かれた小松本院長より、受賞の御礼と建物のコンセプト、省エネへの取り組みなど、約20分程度英語でスピーチが行われましたが、感銘を受けた各国の専門家らから、早くも病院見学の依頼が多数寄せられました。



連携病院の様子は？

出向先は足利赤十字病院、都立大塚病院、川崎市立井田病院
川崎市立川崎病院です。

